『教科書研究ジャーナル』投稿論文 執筆要項

令和 8 年 10 月 22 日制定

１．論文は，目的・課題設定，資料の扱い・研究方法，研究成果の学術的価値などが明確になるよう記述すること。

２．論文は，A4 判縦置き・横書きで，字数は横 22 字×縦 42 行×2 段組を 1 ページとし，図表や参考文献欄等も含め，13 ページを上限とする。

３．論文の 1 ページ目には，論文の題名，英文による題名，400～500 字程度（横 40 字×縦 25 行）の和文の概要，250～300 ワードの英文の概要，キーワードを 5 つ以内で付すものとする。

４．投稿に際しては，当センターWEB ページに掲載されている投稿用のフォーマットを必ず使用すること。（別紙様式）参照

５．文体は口語体の「である」調とし，引用及び学術用語以外は，常用漢字並びに現代仮名遣いを用いる。また，固有名詞以外の外国語はできるだけ訳語を用い，必要な場合に限り初出の際に原綴りを付する。

６．本文は，章，節，項，などに区切り見出しを付す。各見出しには番号と標題を付す。見出しの番号は次の順とする（全角）。

章の見出し番号　１，２,...，

節の見出し番号　（１），（２）,...，

項の見出し番号　①，②，…

章と節については，見出し番号を付し，行の左に書き，見出しのフォントはゴシック体とする。また，章の前は 1 行空ける。項については，見出し番号を付し，見出しとともに左端を 1 こま空ける。

さらに細分を要する場合の表記法については，著者に委ねる。

７．本文は，書き出し及び改行後の書き出し部分を 1 こま空け，また，見出し番号の次も 1 こま空ける。その他はすべて左端から書きはじめる。

読点はカンマ「,」とし，句点は「。」を用いる。

文字の大きさは，題名は 12 ポント，それ以外は 10.5 ポイントとする。フォントは明朝体を標準とし，斜体もしくはゴシック体等の指定のある所は当該フォントを用いる。カタカナは全角文字を用い，数字は算用数字を用い，数字・アルファベットは基本的に Times New Roman の半角文字を用いる。

８．表及び図には，表 1，表 2…，図 1，図 2…のように通し番号とキャプションを付す。表の通し番号とキャプションは表の上側に，図の通し番号とキャプションは図の下側に付す。キャプションの文字の大きさは 10 ポイントとし，フォントはゴシック体を用いる。

９．論文本体,注及び参考文献等には,「拙稿」「拙著」その他，投稿者自身を特定できるような記述をしないこと。

10．引用文献等の記載方法は，APA スタイルを基本とする。ただし，検定教科書については（３）に定めるところによる。

（１）本文の末尾に記載する引用文献等は，著者名のアルファベット順に一括してあげる。

（２）本文中における引用は，次のようにする。

① 著者が一人の場合は，著者の姓及び発行年を本文中に挿入する。

……（佐藤, 2025）。 ……（Black, 1988）。

鈴木（2018）は，……。 Black （1988）は，……。

② 著者が二人の場合は，両方の著者の姓及び発行年を本文中に挿入する。

……（高橋・田中，2012）。 ……（Black & White, 1992）。

渡辺・伊藤（2012）は，……。 Black & White（1988）は，……。

③ 同一刊行年の文献は，刊行順刊行順に a，b，c，を刊行年に付し区別する。

（３）ただし，検定教科書を引用・参照する際は，該当する教科書が特定できるよう，教科書名，発行者名，教科書番号，発行年（西暦）を必須情報として記載するものとする。

11．注，引用文献，参考文献などは，本文の末尾にまとめ，文字のポイントは本文と同様に 10.5 ポイントとする。

12．URL を記載する場合は，アクセス日（閲覧日）を記載する。

（例）著者，A.A.（年，月 日）．ウェブページタイトル．ウェブサイト名．URL

13．本文で引用した文献がすべて引用文献欄にあるか，また，引用文献欄の文献をすべて本文で引用しているかを確認する。

なお，生成 AI の利用については,「『教科書研究ジャーナル』生成 AI の利用について」に定めるところによる。